

| 6年 | | 道徳学習活動案 | | 授業者 | 本田 まゆみ |
|--------|--|---------|-------|---|--------|
| 題材名 | 遠 足 | 内容項目 | 2-(3) | 信頼・友情・男女の協力・助け合い | |
| 本時のねらい | (道徳)互いに信頼し学び合って友情を深め、男女仲良くし協力し助け合おうとする態度を養う。 | | | | |
| 研究内容1 | <ul style="list-style-type: none"> ・6年生児童は、比較的男女の仲も良く、朝、昼休みなど、声をかけ合って仲良く遊ぶ姿が見られる。男女が反発し、いがみ合ったなどという経験はほとんどない。本資料を通して、今までおもてには出していなかった本音の部分が少しでも語れたらと考えている。 ・話し合う中で、これまでの自分たちの行動や態度は、とても価値のあるものであり、これからも六年生の宝物として、大切にしていきたいという意欲へとつなげて話させたい。 | | | | |
| | 学習活動 | | | 研究内容2 | |
| つかむ | <p>1、自分自身の友人関係について見つめる。 男女が協力してできたことには、どんなことがあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー会活動や日直、そうじ。 ・班活動で困っている人を助けたり、励ましたりしてあげた。 ・修学旅行の班行動の時。 <p>資料の配布（資料を範読する）</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> ・価値への方向づけをする ・聞き方、話し方について意識するよう声をかける。（良い姿を認め、広げていく） ・仲間の、どんな考えも受け入れる姿勢、気持ちを大切に作る。 | |
| 深める | <p>2、資料「遠足」を読んで、わたしの気持ちを話し合う。 石につまづいて転んだとき、八木君にはやしたてられたわたしはどんな気持ちだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしだって、頑張ってるのぼっているのに。 ・みじめな思いをしているのに、何という人なんだろう。 ・わたしが気分が悪いことに気づかないのかなあ。 ・女の子をからかうなんて許せない。 ・つらいけど意地でものぼろう。 <p>八木君に「水を飲んで少しすわったいたほうがいいよ。」と言われたとき、わたしはどんな気持ちだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい声かけが、うれしい。 ・八木君もわたしのことを心配してくれているんだ。 ・いつもからかったり、けんかしたりしているけど、本当は優しい人なんだなあ。 ・八木君の良いところを知った。 <p>八木君は、わたしから「ありがとう。」と言われた時、どんな気持ちだったんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな（わたし）が、無事に山頂について良かった。 ・助けてやっていいことをした。 ・とてもいい気持ちだ。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・気分が悪くなって無理して歩いているつらさ、みんなにおいていかれるのではないかという不安な気持ちに十分共感させ、からかわれて腹を立てているわたしの気持ちに気づかせたい。（同じ経験を語らせたい） ・八木君は、わたしが気分が悪いことを知らないことを押さえる。 ・からかったり、口げんかしているけれど、困っていたり、苦しんでいる時は助けてやろう、声をかけてみようという優しい面があることに気づかせる。 ・心からお礼を言えたわたしと、気持ちよく助けてあげた二人が、人間として信頼し合えたうれしさに気づかせる。 | |
| まとめる | <p>3、今までの自分を振り返る。 男女力を合わせ何かをやりとげたとき、どんな気持ちになるか。またそういう経験はあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていた時に、声をかけてもらってうれしかった。 ・今までの学年としての宝物は、男女が協力してつくってきたもの。だから、大切にしなければならない。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめる時間を十分確保し、それを文章にしてまとめさせる。 ・書きにくい子には感想でもよいことを話す。 ・自己見つけができた児童を意図的に指名し、自分の経験が語れたことを多いに認める。 | |
| | 4、説話を聞く。 | | | | |